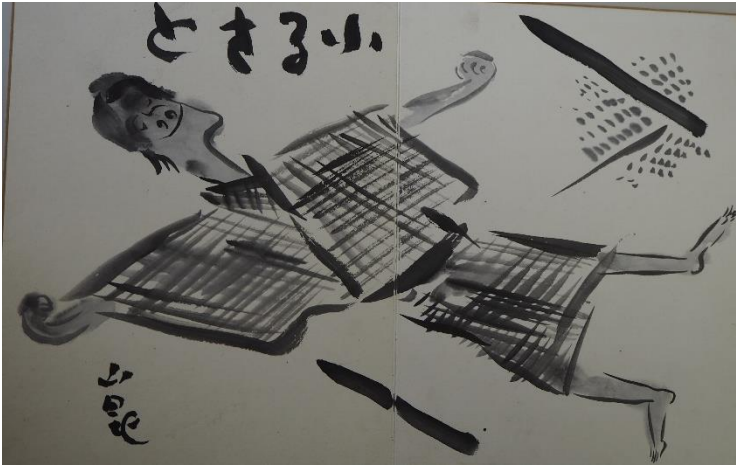


漫画家清水崑について



長崎市出身のマンガ家清水崑（本名清水幸雄/1912～1974）は、戦前から戦後にかけて活躍した。漫画集団及び前身の新漫画派集団に所属し、政治漫画、似顔絵、子ども漫画、ルポルタージュ漫画、似顔絵、本の装丁、舞台美術など幅広い活動を行う。特に清水の代名詞となる一連の「かっぱ漫画」は従来の怖いかっぱ像を可愛い親しみやすいかっぱ像に塗り替えたと言われる。また、大人向けナンセンス漫画の『かっぱ天国』は大ヒットし社会現象にもなった。

清水の作品は戦前から戦後にかけて変化の著しい時代の生活や文化を反映していることから、マンガ史及び近現代史を明らかにする素材となる可能性を秘めている。代表作として、『かっぱ天国』『かっぱ川太郎』一連の政治漫画、ルポルタージュ漫画が挙げられる。

年	出来事
1912年	長崎市銭座町（現在の天神町）に生まれる。
1924年	長崎商業学校（現在の長崎市長崎商業高等学校）入学
1932年頃	長崎から上京。
1933年頃	文藝春秋社の「オール読物」などに挿絵、カットを執筆するようになる。
1933年	新漫画派集団に参加
1937年	雑誌『新青年』に漫画「東京千一夜物語」を連載。のちに内田叶夢監督により映画化される。
1939年	南支派遣軍報道部に派遣される。
1946年	文芸評論家 小林秀雄、小説家 永井龍男などが創刊した新聞『新夕刊』で政治漫画を描く。
1947年	朝日新聞の嘱託漫画家となる。
1951年	『小学生朝日新聞』創刊に際して、「かっぱ川太郎」の連載を開始。かっぱを主人公としたのは、友人であった小説家火野葦平の影響による。
1953年	サンフランシスコ講和会議に際し、朝日新聞社から現地に派遣される。
1954年	「かっぱ天国」連載。大ヒットし社会現象となる。（～1958年連載）
1955年	連続テレビ漫画『かっぱ川太郎』がNHKで放映。（～1956年放映） アニメ映画『かっぱ川太郎』公開 黄桜酒造のCMやカルビー「かっぱあられ」のキャラクターとして清水のかっぱが採用される。「かっぱあられ」は「かっぱえびせん」として現在も名前に「かっぱ」を留めている。
1956年	豊田洋（現在の林家木久扇）が書生となる。落語の才能を見出し、1960年に落語家桂三木助に紹介する。
1971年	荏柄天神社に「かっぱ筆塚」を建立。除幕式には小林秀雄、永井龍男など賛同者80人が参列した。碑文は友人の川端康成が揮毫
1971年10月	長崎のタナカヤにて「長崎のくんちを遊ぶかっぱ展」開催
1972年5月	長崎のタナカヤにて「長崎の春秋を遊ぶかっぱ展」開催
1972年10月	長崎のNBCアートギャラリーにて「長崎の行事を遊ぶかっぱ展」を開催
1974年3月	死去
1974年10月	デザインを担当した東瀛町竜宮船が長崎くんちにて初奉納される。
1992年	長崎大水害を偲び中島川公園内に「ぼんたくん」の銅像が建立
2001年	清水崑展示館開館
	銭座小学校のカップの壁画「なかよし」設置